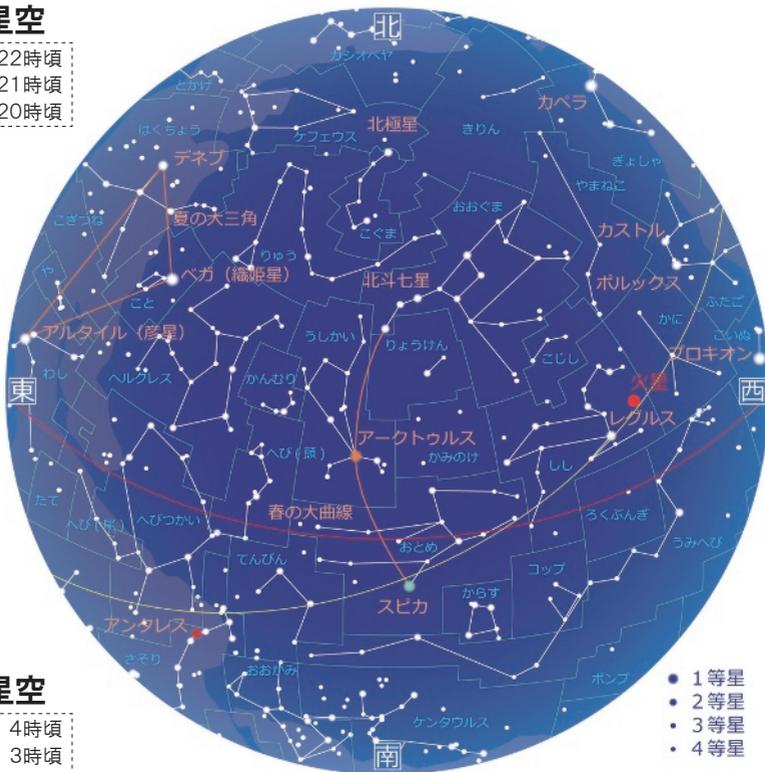


# 星空ガイド 5月16日～6月15日

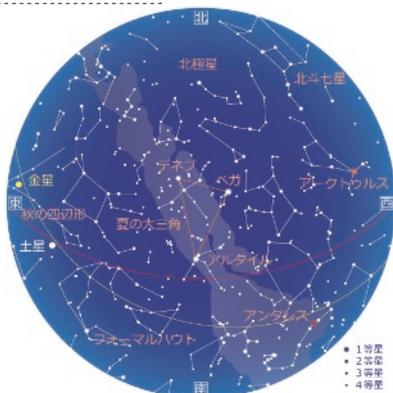
## よいの星空

5月16日22時頃  
6月1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

5月16日 4時頃  
6月1日 3時頃  
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
5	16	金	4:54	18:54	22:29	6:56	18.3
	21	水	4:51	18:58	1:00	12:14	23.3
	26	月	4:48	19:01	3:34	18:13	28.3
6	1	日	4:46	19:05	9:42	23:47	5.0
	6	金	4:44	19:08	14:37	1:26	10.0
	11	水	4:44	19:11	19:31	4:03	15.0
	15	日	4:44	19:12	22:31	7:55	19.0

※惑星は2025年6月1日の位置です。

### 春の空を彩る2つの麦星

春の明るい星を結んでできる、北斗七星から伸びるきれいな曲線、春の大曲線が見やすい時期になりました。春の大曲線ではうしかい座のアークトゥルス、そしておとめ座のスピカと2つの1等星が輝きます。

アークトゥルスはそのオレンジがかった色が麦を連想させること、そして麦の収穫時期の頃に頭上で明るく輝くことから、日本のあちこちで麦星や麦刈り星など麦にちなんだ名前と呼ばれてきました。

アークトゥルスとは対照的な、白い輝きを放つスピカもまた麦に関係する星です。おとめ座は農業の女神であるデーメテルが麦を持った姿で描かれます。そして、その手に持った麦の穂の部分で輝く星がスピカです。実はスピカにはラテン語で「麦の穂」という意味があります。収穫前の麦の穂を見てみるとゲトゲとした見た目をしていますね。昔の人は、スピカのキラキラとした輝きから、収穫前の麦のトゲトゲした見た目を連想し、スピカを麦の穂で輝く星としたのかもしれない。

星の名前には、見た目や星座の中での位置、神話の登場人物の名前など様々な由来があります。知っている星の名前にどのような意味が込められているのか、ぜひ調べてみてください。



おとめ座の星座絵



収穫前の麦の穂

### [こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
5	18	日	天王星が合
	20	火	●下弦(21時)
	21	月	小満(太陽黄経60°)
	23	金	明け方に月と土星がならぶ
	24	土	明け方に月と土星がならぶ 変光星オリオン座U(4.8~13.0等) の極大
	27	火	●新月(12時)
	28	水	月と木星がならぶ
	30	金	水星が外合
	31	土	水星が近日点通過

### 野村 美月(科学館学芸員)

月	日	曜	主な天文現象など
6	1	日	金星が西方最大離角 月と火星が非常に接近
	3	火	●上弦(13時)
	5	木	芒種(太陽黄経75°)
	6	金	月とスピカがならぶ
	8	日	夕方の西の低空で木星と水星がならぶ
	10	火	月とアンタレスがならぶ
	11	水	○満月(17時) 入梅(太陽黄経80°)